

大阪市 教員採用

先輩教員からのメッセージ



大阪市で先生になろう

先輩教員からのメッセージ

子どもたちの未来に繋がる！
子どもたちとともに成長できる！

あなたの笑顔で
子どもたちの未来を一緒に育みませんか



幼稚園教諭からのメッセージ



小学校教諭からのメッセージ



中学校教諭からのメッセージ



養護教諭からのメッセージ



栄養教諭からのメッセージ





子ども一人ひとりに 寄り添った保育を 大切にしたい

幼稚園 教諭

大阪市立愛珠幼稚園
小川 早紀子 教諭 採用6年目



■ 教職をめざした「きっかけ」は……

子どものときから幼稚園の先生に憧れる瞬間がありました。幼稚園の先生の仕事を真似してみたり、友だちのお手伝いをしたりすることが好きな子どもでした。中学校のときに職場体験で幼稚園に行き、先生の仕事をみて、いつかこんな仕事をしてみたいと思いました。自分が通っていた子どもの頃は知らなかったこと、先生の仕事は、こんなところまで全部仕事なんだなということを知り、驚きました。

大阪市立幼稚園で教育実習を行ったときに会った先生が、子ども一人ひとりに寄り添った保育をされている姿をみて、私もそんな保育ができるようになりたいと思い、大阪市の先生をめざしました。

■ 教員になって感じる「魅力」は……

自分が準備したことで、子どもたちが喜んでる姿を見たときに、自分の自信に繋がることがあります。子どもの思いと私の思いがバチッとあてはまったときに、子どもたちのいい顔を見ると、やっぱりこの仕事って、他の仕事にはない、この仕事だからこそその魅力があるな、と感じています。

自分の考えだけで保育内容や支援の方法を考えるのではなく、子どもたちが「何をしたいのか」「どんなことに興味をもっているのか」ということを、まず知るようにしています。子どもたちが、自分からやってみようと思うことができるように、子どもたちの話をしっかりと聞いたり、子どもたちの姿をよく見たりすることを心がけています。

■ 教員になるまでに……

保育園や幼稚園のボランティアに参加し、たくさん子どもや先生と出会うことができるようにすることで、将来、幼稚園の先生として働いたときのイメージができるようになりました。また、子どもに関わるだけでなく、さまざまなアルバイトも経験することで、さまざまな価値観にふれることができるようになりました。

4月から教員として働く、家庭訪問や懇談会等もあります。どのように子育てをされているのか、子どもたちにどのように関わりたいと思ってられるのか等、ご家庭ごとに異なる考えにふれる際の準備に繋がったな、と感じています。

■ ときに悩むことも……

採用1年目のときは、「何をすればよいかわからない」「何がわからないのかもわからない」ということに悩むこともあり、ときに涙してしまうこともありました。その時、先輩の先生に、「悩むことも大切だけれども、終わったことやうまくいかなかったことばかりを考えるのではなく、次にどうすればよいかということを考えるようにしましょう!」と前向きな言葉をかけていただきました。

なかなか、すぐ実践することは難しかったのですが、常に心がけることで、「次はどうすればいいかな」と気持ちを切り替えて考えることができるようになりました。また、自分の趣味に取り組んだり、友だちとごはんに行ったりすることで、気持ちの切り替えをスムーズにできるようにもしています。全力でそのことを楽しむ時間をつくるのが、気持ちを切り替えるコツになっています。

■ 大阪で働く「魅力」は……

子どもたちが「自分からやりたい」と思う、子どもたちが自分で考え、工夫することができるような保育が大切だと思っています。一緒に働いている先生方と、同じような思いで子どもたちに接して保育をすることができているので、やっぱり大阪で働くことができてよかったな、と思っています。



これから教員をめざす方へ……

教員という仕事は、たくさんの人と関わる仕事です。もちろん、うまくいかないこと、ときに、もどかしくなることもあります。でも、そんなときこそ、より楽しくなるポイントを考えたり、うまくいくように改善点を見つけたりすることは、悩むことよりも何倍も楽しく、この仕事だからこそ味わうことのできる魅力だと感じています。

何より、毎日、子どもたちと全力で向き合い、子どもたちの笑顔を見て、ときに、子どもたちと一緒に悩んでということが、すごくおもしろいと感じることができる仕事です。ぜひ、そんな仲間が増えると嬉しいなと思っています。



1日のスケジュール

8:30 9:00 14:30 15:00 15:30 16:15 17:00

出勤 保育準備 保育開始

子どもたちが安全に遊べるよう
園庭や保育室の環境整備



保育



保育終了 清掃



打合せ



職員会議や打合せ、行事の準備など
職員全員での作業があることもあります

事務作業

担当している
業務の資料づくり、
園だよりや
行事の計画案
などの作成、
教材の注文 など



次の日の 退勤
保育準備

小学校 教諭

子どもたちからの 一言で 元気になれる



大阪市立開平小学校
浦野 勇介 教諭 採用2年目

■ 教職をめざした「きっかけ」は……

中学生のころに出会った先生が、時に優しく、時には厳しく、私たちと一緒にいろいろなことを喜んでくださる先生でした。「私も先生みたいになりたい」と思い、学校の楽しさを伝えられる教員をめざしました。

さらに、高校卒業後から小学生・中学生に野球やソフトボールを教える機会があり、人に何かを教える・伝えることの楽しさにも気づきました。

実際に、教員採用試験を受けるとなった時に、大阪市の「共に学び、共に育ち、共に生きる教育」という言葉を目にしました。誰一人取り残さない教育をめざしている大阪市内で自分も働きたいと思い、大阪市の先生をめざしました。

■ 教員になって感じる「魅力」は……

一番の魅力は、子どもからの言葉で元気になれることです。「しんどかったな」と思うときも、子どもからの一言で元気になっています。

また、子どもたちから「先生が担任の先生でよかった」「先生、ありがとう」などの言葉をもらったり、いつの間にか自分のまわりに子どもたちが集まっていたりする時に、改めて教員になってよかったな、と感じています。子どもたちが集まっている時は、それぞれの子どもたちに声をかけたり、一緒に遊んだりするなど、子どもたちとの時間を多く持つように心がけています。

教員になったことで、「人の気持ちを考える力」が、より身についたと思います。

■ 大阪市内で働く「魅力」は……

周りの先生方に話しかけやすいところが、大阪市の魅力だと思います。どの先生も、お聞きしたことに対して、必ずお話をいただけるので、話しかけやすく、教職員みなさまと、かかわりやすい職場だと感じています。

■ 教員になるまでに……

幅広い視野を持つことができるように、たくさんの方にチャレンジしました。いろいろな資格を取得したり、林間学習のキャンプファイヤーに関わる仕事に取り組みんだりしました。自分の引き出しをたくさんつくることを心がけて常に学びに向かっていました。

自分の引き出しを増やしたことで、教員になってから、さまざまなところで役立てることができています。

■ 気持ちを切り替えるために……

なかなか仕事のことから離れられないことがありますが、家族や友達との時間や自分の趣味の時間をつくることを大切にしています。趣味のソフトボールや野球で身体を動かし、「休みの日には……したよ」など、子どもたちとのコミュニケーションにもつながっています。

24時間仕事のことを考えるのではなく、リフレッシュ時間をつくり、オン・オフのメリハリをつけるように心がけています。



これから教員をめざす方へ……

私は、講師経験も長く、中学校現場で働いたり、学校とは異なる職場で働いたりもしました。何度も挫折しましたが、「諦めない気持ち」「最後までやり抜く気持ち」を忘れずに取り組みだことで、今、大阪市の教員として働いています。

みなさんも、自分に自信を持って、全力で挑んでください。常に諦めず、学びに向かい、周りの方々の話をしっかりと受けとめ、自分の力を高めていってください。応援しています！

1日のスケジュール

8:30	8:50	15:30	15:45	16:00	16:45	17:00			
出勤	朝の時間	授業開始	休み時間	給食指導	授業 授業 終わり	事務作業	打合せ	次の日の 準備	退勤
	教室の環境整備・健康観察				担当している 業務の資料づくり、 授業の準備など		職員会議や打合せ、 行事の準備など		



「こんな教員になりたい」という原点を忘れない

中学校教諭



大阪市立天王寺中学校
大迫 裕也 教諭 採用9年目

■ 教職をめざした「きっかけ」は……

中学生の頃、学校の先生の言動・行動一つで、子どもたちの人生が大きく変わると感じた瞬間がありました。そのとき、自分が学校の先生になって、1人でも多くの子どもたちに喜びを与えることができるようになりたいと思いました。その夢に向かってひたむきに努力し、今、学校の先生になることができています。自分の夢を応援してくださった先生のおられる大阪で、一緒に子どもたちの夢を応援したいと大阪市の教員をめざしました。

■ 教員になって感じる「魅力」は……

子どもたちの成長を感じることができる、ということが一番のやりがいだと感じています。大きく成長していく姿を見て、子どもたちが大きくなっていく姿で、こんなに嬉しいものなのだなど、日々、感じています。また、何かできるようになったという喜びを子どもたちや保護者の方々、教職員で分かち合えることも、教員の魅力であり、やりがいです。「できてよかった」と子どもたちが「ニコッ」とする顔を見るために、頑張っています。

■ 子どもたちと向き合うために……

教員は魅力のある仕事ですが、悩みはいつもつきない仕事でもあると感じています。「この対応でよかったのかな」「あのとき、こうした方がよかったのかな」と思うこともあります。でも悩んだときは、先輩の先生方に相談しアドバイスをいただいたり、自分の考えも伝えながら、一緒に取り組ませていただいたりしています。

何気ない会話も含め、日々、しっかりコミュニケーションをとり、悩んだときは、1人で悩まずに、教職員で協力・連携し、チームで対応することが一番大切だと実感しています。



■ 教員になるまでに……

教員になりたいと強く思っていたので、教員になると最も仕事として多く取り組むことになる「授業」についてより学ぶことができるように塾のアルバイトをしました。さまざまな年代の子どもたちとの経験は、今、とても活かされています。

また、子どもたちとのコミュニケーションにつながるように、さまざまな経験を積んでおくことも大切だと思っていました。幅広く興味を持って、いろいろなことに取り組むことが、コミュニケーションの種となり、良い人間関係をつくるきっかけになると感じています。

■ 気持ちを切り替えるために……

プライベートでは、家族との時間をつくることを大切にしています。今、サッカー部の顧問を担当していますが、複数名の顧問で協力し、休みの日もしっかりと設けることができるようにしています。

家で映画を見たり、家族で旅行に行ったりなど、心も身体もリフレッシュし、十分に気持ちを切り替えることで、元気に仕事に臨むことができるように心がけています。



これから教員をめざす方へ……

「こんな教育がしたい」「こんな教員になりたい」という原点の部分をおぼろげに忘れないことが、教員生活を送っていく中で大切と感じています。何か困ったとき、つらいときの自分を奮い立たせる原動力になってくると思います。

教員も子どもたちも、答えのない課題に出あうことがたくさんあります。自身の原動力を忘れず、困難を乗り越えられる力をつけてあげられる、子どもたちと向き合うことができる素敵な先生になってください。



1日のスケジュール

8:30	8:50		15:30	15:45	16:30	16:45	17:00		
出勤	朝の時間	授業開始	休み時間	給食指導	授業 終わり	部活動	打合せ	事務作業	退勤
	1人で授業をしたり、一緒に授業をしたりすることもあります						職員会議や打合せ、行事の準備など	担当している業務の資料づくり、授業の準備など	



養護教諭

子どもたちから もらう幸せが 学校にはたくさんある



大阪市立栄小学校

渡邊 未奈美 教諭 採用7年目

■ 教職をめざした「きっかけ」は……

学生のころ、大好きな友人や先生がいる学校がとても大好きでした。楽しいことだけでなく、辛いことや苦しいこともたくさんありましたが、楽しく安心して学校生活を送ることができたのは、手を差し伸べてくれる人たちがいたからだと思えます。高校生のときに気づきました。次は、私が手を差し伸べたり、掴んだ手をギュッと掴むことができるような人になりたいと思ったときに、子どもたちが安心して過ごせる保健室にしたいと、養護教諭をめざすことにしました。

また、ボランティアや教育実習で、大阪市立の学校園に関わることもあり、そのときに会った先生方がすごく温かく、いろんなことを気にかけてくださり、アドバイスをくださいました。「こんな先生に私もなりたい」とすごく感じたので、大阪市の教員をめざしました。

■ 教員になって感じる「魅力」は……

養護教諭になり、一番幸せだと感じることは、子どもたちの笑顔を近くで見られることです。学校では、日々ハプニングが起こりますが、そのようなときに、教職員みんなで協力し無事乗り越えることができたときに感じる達成感や幸福感がとても大好きで、学校で働くことができてよかったと感じています。

また、私が保健教育をすることで、子どもたちが実践してくれたり、「こんな風にすればいいんだ」と理解したりする瞬間がみえるときにも、養護教諭でよかったなと思います。

■ 大阪で働く「魅力」は……

養護教諭は、各校園1人のことが多いのですが、他校の養護教諭のみなさまがとても優しいと感じています。隣の学校の養護教諭が「できているかな」と気にかけてくださったり、「それは嬉しいね、よかったね」と一緒に喜んでくださったりと繋がりを大切にしているということは、大阪市の養護教諭の魅力であると、今、改めて感じています。



■ 教員になるまでに……

興味のあること、好きなこと、やりたいと思ったことに、積極的に取り組むようにしていました。子どもたちと関わるボランティアに参加したり、養護教諭には繋がらないかとも思うことにも取り組んだりしていました。

いろいろなことに取り組んだことが、自分自身の成長に繋がりと、さまざまなことへの柔軟性もついたのでないかと感じています。働き始めて、あのときの経験が役立ったということもたくさんあったので、いろいろなことに挑戦してよかったです。

■ 気持ちを切り替えるために……

仕事の時間だけでなく、プライベートの時間も大切にしています。旅行に行くことが好きなので、自分が見たことがない景色を見に行ったり、初めてのことに挑戦したりしています。プライベートも全力で楽しむことで、自分の視野も広がると感じています。

仕事の時間から一歩抜け出すことによって、「また仕事、頑張ろう」「こんなことに挑戦したよ」と子どもたちに話したいと感じることができたときに、より仕事を頑張ることができました。



これから教員をめざす方へ……

私も、養護教諭になる前は、「1人でできるかな」と、すごく不安を感じていました。でも、想像していた以上に、すごく楽しい仕事です。

自分が想像していた養護教諭よりも、たくさんものを、今、子どもたちや先生方からもらっています。ときに、自分が思い描いていたものと違うと感じることもあるかもしれませんが、子どもたちの笑顔に元気をもらえたり、「先生、ありがとう」という何気ない言葉が嬉しかったりと、子どもたちからもらう幸せが、学校にはたくさんあります。辛いことやしんどいこともあると思いますが、養護教諭になってよかったと思えることがいっぱいあるので、「養護教諭になりたい」と思った気持ちを大切に一歩を踏み出してほしいと思います。養護教諭という仕事は、とても楽しいので、一緒に働くことができると嬉しいです。



1日のスケジュール

8:30 8:50 9:00 15:30 16:00 16:45 17:00

出勤 朝の時間
登校してきた
子どもたちの健康観察

授業 出席状況の確認
授業 開始
教室をまわり、子どもたちの様子を観察したり、保健室を訪れる子どもたちとコミュニケーションをとったりします。

事務作業
担当している
業務の資料づくり

授業 打ち合せ
授業 終わり
職員会議や
打ち合せ、行事の準備など
職員全員での作業がある
こともあります

次の日 退勤
準備

先生方と連携して、学級教室や保健室で保健指導したりすることもあります。





子どもたちとともに、食について学び続けたい

栄養教諭

大阪市立栄小学校
宮崎 鈴菜 教諭 採用2年目



■ 教職をめざした「きっかけ」は……

昔から美味しいものが大好きで、食に関する仕事に興味を持っていました。栄養士の免許を取りたいと進学し、学びの中で、栄養教諭という職業に出会いました。栄養教諭という職業を知っていくうちに、「そういえば、栄養教諭の先生、自分の小学校にもいた!すごい!やってみたい!」と思うようになりました。子どもたちと共に、食について学ぶことができることが素敵だなと思い、栄養教諭をめざしました。

栄養教諭の免許を取得し、縁があって、大阪市の学校園で栄養職員として働くことになりました。社会人1年目で何もわからなかったのですが、先生方や給食調理員のみなさまが優しく教えてくださり、ぜひとも大阪で栄養教諭として働きたいと思いました。

■ 教員になって感じる「魅力」は……

子どもたちが、毎日給食を「美味しい」と食べている姿を見ると、栄養教諭になってよかったな、と思います。栄養指導や給食指導をすることで、子どもたちが食べることに興味を持ったり、苦手な食べ物を食べている姿を見たりすると尊い仕事だな、と感じます。

子どもたちの近くに関わることができる仕事なので、子どもたちとコミュニケーションをとると、私も力が湧いてきます。毎日、子どもたちの姿や声に癒され、元気をもらっています。

■ 大阪で働く「魅力」は……

大阪は自校調理なので、小学校それぞれで給食調理を行なっていることもすごく魅力であると感じています。給食室と子どもたちの距離が近く、栄養教諭として私も一緒に関わることができます。

大阪は、栄養教育推進事業が充実していて、近隣校に栄養指導に行き、たくさんの授業をする経験もできます。授業をする中で、子どもたちに食べ物ことや自校調理で作っている給食のこと、季節の果物や行事食のことなど、さまざまな「食」のすばらしさを伝えることができることに魅力を感じています。

■ 教員になるまでに……

栄養士と栄養教諭の大きな違いは、子どもたちのいる教育現場で働くということです。学生のころには、放課後教室でアルバイトをするなど、栄養教諭になるためにできるだけたくさんを経験するようにしました。先生方の声かけや関わり方を身近で学ぶ機会になりました。

また、栄養の学習が子どもたちにとって楽しい学習になるよう、食についても学びを深めました。経験を積むことで、自分自身の食への興味も深まったと感じています。

■ 気持ちを切り替えるために……

美味しいものが大好きなので、できるだけ休みの日は外に出て美味しいものを食べたり、友だちとたくさん話をしたりして、心も身体も健康に保つことができるようにリフレッシュするようにしています。美味しいものに出あった時には、子どもたちにも共有するようにしています。休みの日や仕事終わりの時間を存分に楽しんで、「また仕事、頑張ろう」と思えるようにしています。



これから教員をめざす方へ……

毎日、美味しく給食を食べている子どもたちを見ると、私も元気になります。「しんどいな」と思うときには、運動場や教室で遊んだり、話をしたり、大好きな食べ物話でもりあがりすることで、子どもたちから元気をもらっていることが多いです。

私自身、栄養教諭になろうか悩んだ時期もありましたが、「栄養教諭になってよかった」と、今、心から思っています。みなさまには、それぞれ、栄養教諭になりたいと思った理由があると思います。その気持ちを忘れずに頑張ってください。

自分自身も、ずっと学び続けられるというのが、この仕事の魅力です。ぜひ、一緒に、大阪で栄養教諭として働きましょう!



1日のスケジュール

8:30	8:50	9:00		12:20	15:30	15:45	16:00	17:00		
出勤	朝の時間	授業開始	給食調理員と打合せ	給食調理員と仕上げ	給食室や教室で配膳指導	次の日	授業	事務作業	打合せ	退勤
		先生方と連携し、栄養指導をする日もあります	(献立や作業工程)	状況の確認・調整	給食の時間には、教室をまわり子どもたちの様子を見るようにします	の準備	終わり	担当している業務の資料づくりなど	職員会議や打合せ、行事の準備など	職員全員での作業があることもあります

大阪市で働く教員が、よりいきいきと働くことができるよう さまざまな取組を実施しています

学び続ける教員を支える環境

校園内研修・研究



各校園では、学校園の課題に合わせた研修や研究を実施しています。

教員の 総合バックアップセンター



「大阪市の先生になりたい」
「大阪市の先生になってよかった」となるよう、
大阪市総合教育センターは
「教員の総合バックアップセンター」として
さまざまな事業に取り組んでいます。

支援チーム事業



教育ブロック担当指導主事や
スクールアドバイザーなどで構成される
「支援チーム」が、各校の事情に応じて
支援しています。

大阪市で働く教員、子どもたちの笑顔があふれる学校園をめざします

サポーター



「幼稚園介助サポーター」や「学力向上支援サポーター」、
「特別支援教育サポーター」などがあります。

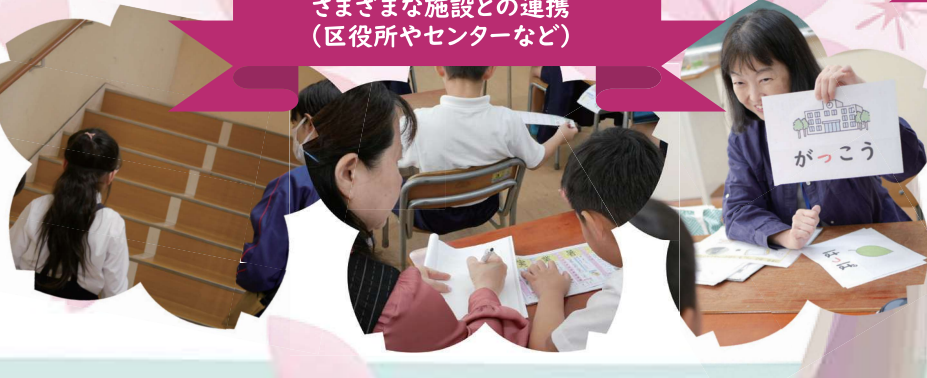
スクールサポートスタッフ



部活動支援員



さまざまな施設との連携 (区役所やセンターなど)



欠席連絡等アプリや 採点システムの導入



教員を支える取組

【お問い合わせ先】

大阪市教育委員会事務局
教務部教職員人事担当

〒530-8201 大阪府大阪市北区中之島1丁目3番20号
(06)6208-9123



大阪市教員採用ポータルサイト
<https://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu230/kyousai/index.html>



「大阪市教員採用」公式アカウント
@osakasikyousai
<https://x.com/osakasikyousai>